

## SCDクランプディスク

### 取付け

- クランプディスクのフロントリング、リアリング、インナーリングのテーパ面には予めグリス(モリブデン二硫化物)を塗布していますがそのまま使用してください。シャフト・ボスなどの接触部を清掃し、薄くオイルを塗布してください。但し、**(注)モリブデン二硫化物や極圧添加剤入りのオイルやグリスは厳禁です。(図11)**
- ボスをシャフトに装着したのちクランプディスクをセットします。セットするまえにクランプディスクのすきま W(図12)を予め一定にセットしてください。このときクランプねじをあまり強く締めないように軽くインナーリングが動く程度で調整してください。
- クランプねじを図13の要領で徐々に時計方向あるいは反時計方向に順に締付けます。対角にはありませんのでご注意ください。クランプねじはトルクレンチを用い、締付けトルク Ms の値まで数回に分け締付けます。このときクランプディスクのすきまWを一定に保つようご注意ください。

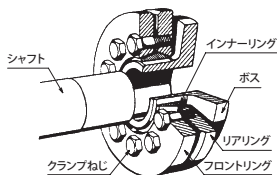


図11

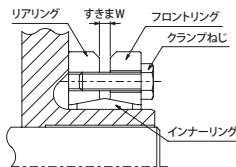


図12

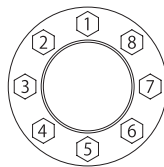


図13 クランプねじ締付け順序

### 取外し

- クランプディスクの取外しは取付けと逆の方法で行います。クランプねじを徐々に、順に弛めてください。クランプディスクが傾いたり各部が離れてしまうことのないよう注意して弛めてください。このあとボスにセットしたままシャフトから取外します。シャフトにサビが発生しているときは取外しやすくするためサビを落としオイルを塗布してください。ボスからクランプディスクを取外します。
  - 再使用するクランプディスクは分解し清掃してください。クランプねじのねじ面、頭部座面、テーパ部などには再度モリブデン二硫化物・極圧添加剤などのグリス潤滑を施してください。